

夏の神、

いとしずく









幼少の時のまき

— 謎の少女に会うひと夏 —



主人公 ヒロ



本文では頭身もあげました!!

ヒロイン  
瑠璃



俺は遠く都会を離れ  
田舎町に来ていた

うわあ…

すごいな  
頂上が見えない

夏休みを利用して  
秘境スポットに  
足を運んでいるのだ

地元の人に聞いて  
来てみたけど…  
人が誰もいない

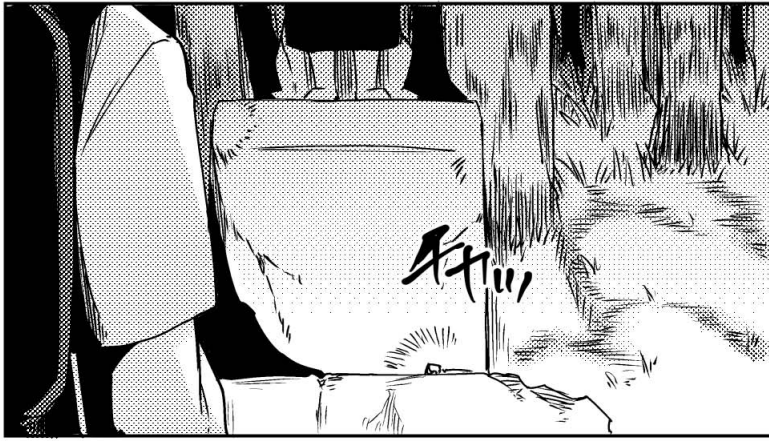
入口もなかったし  
ほとんど人の出入りが  
ないのかな？



ゆっくり写真を  
撮って周ろう

まあ、いいや







一瞬時が  
止まった

どわん

私は瑠璃  
この山の近くに  
住んでいるんです

あゝあゝ

ねえ名前は？

あーあ



あゝえ？  
履いてない

凜とした声と  
たたずまいに

俺は心が奪われた

どわん

どわん



へえ  
ヒロさんは秘境を旅して  
周るのが趣味なんですね

あれ、それは何ですか？

え、これ？

カメラだけど

カメラ？

大人びた少女だと  
思ったけどカメラを  
知らないのか…



それにしても  
この子…美人すぎる

裸足姿といい  
こんな山の中で妙だな



あつだ！  
あつちに絶景が  
あるんですよ









なんて綺麗な  
場所なんだ



ヒロさん!  
こっちです

待って  
瑠璃ちゃん



ア  
ア  
ア

すげえ...



だ、大丈夫

きゃっ

キラ キラ

後で行きましょうね

どうどう...  
すい...  
ニミ、私の秘密の  
場所なんですよ

それに  
この先にはとても  
雰囲気の良い神社も  
あるんですよ

と  
と  
と



?

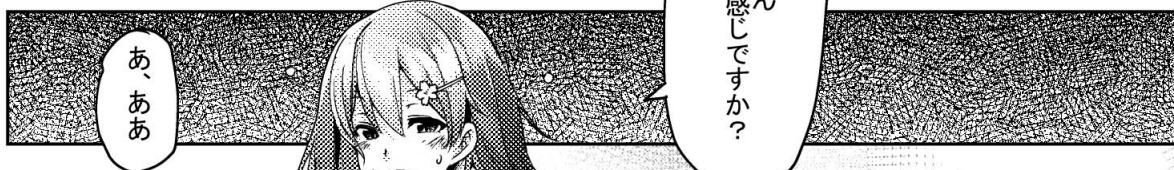
アハ

あの、さ...  
瑠璃ちゃん

アハ



.....



水に濡れて  
肌が...



全部見えそうだ





普段の俺なら  
こんな少女に  
劣情を抱くこと  
なんてないのに…

今日はなんだか  
おかしい…

はあ

はあ

乳首…透けて  
見えてる

ピンク色でぷっくりと  
膨らんで…触ってみたい



全部？



全部見たい…



大人びた少女だとは  
思ったけどこの子は…



うう

はあ

